

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：生活保護費 目：生活保護費

事業名 生活保護システム維持管理費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 地域福祉課 生活支援係 電話番号：058-272-1111(内3451)

E-mail：c11219@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 16,028 千円 (前年度予算額： 7,472 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	7,472	4,323	0	0	0	0	0	0	3,149
要求額	16,028	0	0	0	0	0	0	0	16,028
決定額	16,028	0	0	0	0	0	0	0	16,028

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

地方公共団体情報システム標準化基本方針に沿って、当県は令和7年末にシステム標準化を行い、ガバメントクラウドを利用する予定である。

従来の生活保護システム保守管理費に加え、ガバメントクラウドを利用するにあたり、ネットワーク運用管理補助者委託費、回線費用、ガバクラ利用料が必要となる。

(2) 事業内容

- 生活保護システム保守管理業務

要求額：5,515千円

- ガバメントクラウドへの接続、保守管理委託

要求額：6,649千円(運用管理補助者：2,436千円、回線利用料：4,213千円)

- ガバメントクラウド利用料

要求額：3,864千円(システム分：1,963千円、回線分：1,901千円)

(3) 県負担・補助率の考え方

生活保護システムは、県が生活保護費の支給等の業務において使用するシステムであり、その保守管理費、ガバメントクラウドに係る経費は県で負担すべきものである。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	12,164	生活保護システム保守管理（5,515）、ガバメントクラウドへの接続・保守管理（6,649）
使用料及び賃借料	3,864	ガバメントクラウド利用料（国へ支払うもの）（3,864）
合計	16,028	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律（令和３年法律第40号）

（２）国・他県の状況

地方公共団体情報システム標準化基本方針において、目標時期を令和７年度末とし（同方針2-2-(5)）、また、ガバメントクラウドを活用することとなった。（前記法律第10条。努力義務。ただし、補助金事務処理要領上は、交付対象はガバメントクラウドの利用が原則とされているため、活用せざるを得ない。）

（３）後年度の財政負担

運用経費 16,028千円/年
（令和7年10月～令和13年3月）

（４）事業主体及びその妥当性

生活保護システムは、県が生活保護費の支給等の業務において使用するシステムであり、その保守管理費、ガバメントクラウドに係る経費は県で負担すべきものである。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県生活保護システムを保守管理し生活保護事務を適正に処理できる状態にする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

事業の内容がシステム改修であり、目標（指標）設定に馴染まないため。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	岐阜県生活保護システムを保守管理し、生活保護事務を適正に処理できる状態を維持することができた。
	指標① 目標： 実績： 達成率： %
令和5年度	岐阜県生活保護システムを保守管理し、生活保護事務を適正に処理できる状態を維持することができた。
	指標① 目標： 実績： 達成率： %
令和6年度	岐阜県生活保護システムを保守管理し、生活保護事務を適正に処理できる状態を維持することができた。
	指標① 目標： 実績： 達成率： %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	生活保護制度の安定的かつ効率的な運用には、事務処理システムの保守管理が不可欠であり、同システムの重要性、必要性に変わりはない。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	生活保護者が増加しており、より一層の正確性が求められており成果はあがっている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	岐阜県生活保護システムを保守管理し効率化を図っている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 システムの欠陥や不具合は生活保護業務に多大な影響を与えるため、システムを常に適切な状態にメンテナンスしていくことが求められる。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 生活保護制度の安定的かつ効率的な運用を行うため、今後も生活保護システムを活用していく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	